

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 歴史 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	モンタナ州立大学 (国名： アメリカ)		
参加プログラム 区分	<input type="checkbox"/> 協定校サマープログラム <input checked="" type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	H30 年 9 月 5 日－ H30 年 9 月 21 日	留学開始 時学年	_ 1 _ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	<input type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 _____ 期】 <input type="checkbox"/> その他 (_____)		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種 類 (ESTA)	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 場所(America)
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 (語)		
勉強方法	語彙力を増やしました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	<input type="checkbox"/> プログラム費用 220,000 円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 1,400 円 <input type="checkbox"/> 渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復) 170,000 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険料 20,000 円 <input type="checkbox"/> 食費 円 <input type="checkbox"/> その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	UA, NH	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本空港→羽田空港→成田 空港→デンバー空港→ポー ズマン空港	到着 時刻	現地時間 17:00 【※移動時間 (約 20 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	搭乗手続きがあり、かなり時間に余裕がない。 特に帰りの成田空港から羽田空港に行く際には、渋滞に引っかか ってしまい、かなり余裕がなかった。		
宿泊先	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他 ()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話は大学とホームステイ先で使えたが、モバイル Wi-Fi が あるとかなり便利である。やはり、緊急の連絡の際に Wi-Fi がな いと不便である。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>主に午前中（9:00～11:30）、英語の授業がありました。内容は、その日の午後にあるなにかしらのイベントについての予習、コミュニケーション能力を図る簡易なゲーム、アルファベットの L, R の発音の違い等です。</p> <p>そして、午後はモンタナ州ならではの所に行ったりもしました。モンタナ州立大学のキャンパスを巡るツアーもありました。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>かなり充実していたと思います。しかも、事前に回答したアンケートの内容がホームステイ先に反映されていて、良かったです。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>ほとんどなかったです</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>現地学生にお勧めのスポットを聞き、そこにホームステイの家族と共に行ったりしました。他にも、ハイキングやグリズリーベアーを見に行ったりしました。後、現地にあるコンピューター博物館にも足を運んだりしました。ダウンタウンの有名な飲食店にも連れて行ってもらえました。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

短期留学に行くと、すぐに語学が上達するわけではないが、英語を聞き取る能力と話す能力は間違いなく上達しました。さらに、私は、今回の短期留学で多くの人々、モンタナ州の雄大な自然、アメリカの食文化を堪能することが出来ました。私は、英語を話せるだけでこんなにも多くのことを学べるもしくは体験できるという喜びを得ることが出来ました。この経験のおかげで、また留学したいと思うようになりました。

また、今回の短期留学を通して、私は自分の伝える力に関して自信を得ることが出来ました。意思疎通が上手くいかなかった際、言い換え、ボディランゲージ等を駆使してなんとか自分の気持ち等を伝えようと努めました。その結果、ホストファミリー、現地の人々と楽しく会話することが出来ました。英語の能力以上に、相手の話を丁寧に聞こうとする気持ち、自分の話を伝えようとする気持ちが大事だという結論に至りました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

非常に気温が低いということで、長ズボンのスウェットを多く持って行ったのですが、ホームステイ先の家の室内は結構温かったので、それらを使用する機会はあまりありませんでした。そこで、急遽、現地で半ズボンの寝間着を購入しました。

モンタナ州立大学の敷地は非常に広いので、キャンパスマップは常に携帯しておいた方が良いと思われます。生活全般については、何も心配することはありませんでしたが、日本から爪切り、綿棒、ボディタオル等の衛生用品は自分で用意していった方が良いかもしれません。後、各家庭によって洗濯機の操作の仕方、シャワーの使い方等は違っていったようなので、トラブルを避けるためにも、そこは何回も確認した方が良いでしょう。

さらに、モンタナ州はかなり乾燥しているので、機内ではマスクをしていた方が良いでしょう。フライト時間もかなり長いので、マスクをしていないと、喉が乾燥すると思われる。

また、ホームステイ先の家族とのやり取りはメッセージアプリを使うことをお勧めします。電話だと細かな情報が把握しにくいので、しかも、情報の取り違えが起こる可能性も電話の方が高いです。仮に電話で連絡を取るのであれば、連絡事項を何度も確認した方が良いでしょう。

留学を通しての感想

この留学は本当に貴重な体験になりました。社会人になると、なかなかこのような体験をする時間がなくなると思います。だからこそ、大学生という比較的時間があるときに海外に行ってみるという経験をするのは自分の人生を見つめなおすばかりか、就活の際の企業選びにも役立つと思います。英語という言語が話せれば、どこの国の人々ともコミュニケーションを取れるわけではないのですが、やはり言語を習得することは自分の視野を広げてくれると感じました。

この留学を機に、英語だけでなく第三外国語であるドイツ語の習得にも精を出しているかなと思いました。言語は私たちの世界を輝かせてくれます。このような機会を設けてくれた熊本大学にも感謝致します。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	法 学部・大学院	法	学科・専攻
留学先機関名	モンタナ州立大学 (国名： アメリカ)		
参加プログラム区分	<input type="checkbox"/> 協定校サマープログラム <input checked="" type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	H30 年 9 月 5 日－ H30 年 9 月 21 日	留学開始時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給した場合)	<input type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		



3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>授業はプログラムに参加している学生のレベルに合わせて行われるので、丁度良い難易度でした。先生も工夫された授業をしてくださるので、非常に楽しかったです。</p> <p>フィールドワークは非常に充実していました。イエローストーン、ロッキー博物館、ダウンタウン散策、大学のキャンパスツアー、フードボランティア、ハイキング、カルチャーフェアなど様々ありました。どれも日本では体験できないようなことばかりで刺激になりました。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>どの面においても、留学先大学にいらっしゃる日本人職員の方がサポートしてくださるので安心してプログラムに参加できました。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>特にありません。</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>休日はホストファミリーが様々なところに連れて行ってくれました。ショッピングはもちろんウェストイエローストーンやキャンプなどに行きました。また、行きたいところをホストファミリーに伝えると快く承諾してくれました。他には、参加メンバーの女子全員で大学のフットボールの試合を見に行きました。現地学生との交流においては、熊本大学から留学している学生がルームメイトの現地学生を紹介してくれました。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

日本にいと英語を話す機会はあまりないため英会話に自信がなかったのですが、約3週間ホームステイをすることによって、多少の英会話力は身についたと感じています。3週間は短い期間ですが、話すことを日本語から英語に変換する瞬発力が最初の頃と比べて速くなっていったと思います。

アメリカの大学で現地学生の大学生活を見ていると、どこに行っても常に勉強している姿が印象的でした。私の大学での過ごし方を省みるきっかけになりました。

チームビルディングセッションでは、リーダーとは何か？を考えたり、日本人の性格の特徴を客観的に考えることができました。アメリカの人々と日本人の考え方の違いに深く触れることができたと感じています。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

ボーズマンの人々はとても親切で友好的です。最初は躊躇いがちになってしまいますが、様々な人に積極的に声をかけて話をすれば英語を話す機会が多くなります。ホストファミリーの方々も親切な方が多いので、礼儀をもって本当の家族のように接していけばホストファミリーとも友好的な関係が築けると思います。

留学を通しての感想

このプログラムに参加して本当に良かったです。これは私にとって初めての渡米で、不安なことも多かったのですが、英語はもちろんアメリカの文化を学ぶことができ、学生生活において貴重な体験になりました。このプログラムで得たことは非常に多いです。英会話での失敗を恐れなくなりましたし、ホストファミリーなどのアメリカでの知人もできました。日本では学ぶことのできないアメリカの文化には刺激を受けました。このプログラムで学んだことや感じたことを忘れずに、これからの大学生活での過ごし方に活かしていきたいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	Cさん		
所属	自然科学教育 学部・ <u>大学院</u> 材料応用化学 学科・ <u>専攻</u>		
留学先機関名	モンタナ州立大学 (国名: アメリカ)		
参加プログラム 区分	<input type="checkbox"/> 協定校サマースクール <input checked="" type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他:		
留学期間	H30年9月5日 - H30年9月21日	留学開始 時学年	1年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	<input type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ! 留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他() (語)		
勉強方法	TOEIC 対策問題でリスニングを鍛えたり、国際時事問題をニュースで読んだ。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	<input checked="" type="checkbox"/> プログラム費用 約 22 万円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 0 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 0 円 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 約 18 万 円 <input checked="" type="checkbox"/> 海外旅行保険料 約 1 万 6 千 円 <input checked="" type="checkbox"/> 食費 2 万 円 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (お土産代) 3 万 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ユナイテッド航空	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	到着 時刻	17 時 【※移動時間 (約 14 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (徒歩)		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	行きの成田—デンバー間の移動では旅行会社の方が引導してくれるので心配なくてよい。帰りの成田から羽田に行く際、シャトルバスを利用したが、道が渋滞していて出発時間ギリギリになった。		
宿泊先	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ その他()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	WIFI は基本的に学校とホームステイ先にあるのでルータは必要な時に借りればよい。保険は絶対に入る。帰りの荷物はお土産などで一杯になるので、空のキャリーケースがあれば役に立つ。空港の預け荷物は 1 個 50 kg 以上だと超過料金が発生するので注意する事。現金は 3 万円くらいあれば、あとはクレジットカードで生活できる。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>平日の9時～16時まで授業で内容は現地のホームステイで役に立つ英語を学習したり、ネイティブアメリカンの文化を学んだり、日本ならではのユーモアを英文で説明するなどオープンな授業だった。現地で色々な人と円滑にコミュニケーションを取れるための練習が多かった。フィールドワークとしてはショッピング、イエローストーン国立公園、ロッキーズ博物館、ハイキング等があった。土日はホストファミリーと過ごしたり自由時間でダウンタウンに出かけたりした。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>語学面、学校生活では日本語、英語2か国語話せる方がサポートしてくださった。基本的に英語で話して、分からなかった時だけ日本語で聞くような体制だった。日常生活ではホストマザーと連絡を取り合って予定を立てた。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）</p>	<p>奨学金免除の申請用に代表者からサインをいただいた。</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>休日はダウンタウンに出かけて現地の方に話しかけて仲良くなった。ホストファミリーとはイエローストーンの温泉に行ったり、メキシカン料理を食べに出かけた。また、現地で留学している方と仲良くなってその方のルームメイトと交流した。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

今回留学を経験して、本当に自分がしたい仕事を選ぶことの重要性を改めて感じました。留学をするまで私は、都会に拠点のある企業に就職したいと漠然と考えていましたが、自然豊かなモンタナで過ごすことでその考えは一変しました。そこではホストファミリーをはじめ、どこに行っても住んでいる方々活き活きとして自信に満ち溢れていました。これは仕事で好きなことをやっていて人生を心から楽しんでいることが要因だと気付きました。はっと目が覚め、場所ではなくもっと本質的な部分に着目して自分がやりたい仕事をしようと心に誓いました。就活前に留学を経験出来て本当に良かったと思います。語学に関してはリスニングが特に伸びたかと思えます。最終日では現地である程度の会話はこなせるようになり、英語を聞き取ることはある程度出来ました。また、自分から積極的に現地の人に話しかけるよう意識して過ごしていたので、語学が異なる人とのコミュニケーション能力を向上することが出来ました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

自分が留学前にやっておけばよかったと思うことは、熊大に来ている交換留学生と交流することです。いきなり留学して語学の異なる人とコミュニケーションを取るのは非常に難しいです。留学前に留学生と交流してある程度の会話はできておいた方がもっと楽しめると思えます。現地の気候に関しては、朝夜はとても寒く、昼は暑いときもあるので、半袖とフリースなどを持っていけばよいと思います。また、自然散策も行うので歩きやすい靴も必須です。今回のプログラムでは土日はそれぞれ2回ずつでしたが、とても時間が過ぎるのは早いです。悔いのないように自分がやりたいこと、一緒に行きたい場所などをしっかりホストファミリーに伝えた方がよいです。事前にボーズマンに何があるか、調べておくといいかもしれません。

留学を通しての感想

留学を経験して、私は人間として一皮むけたと感じています。ネイティブアメリカの文化、語学の異なる人々との交流、現地の方々の活き活きとした態度など日本では体験することのできないことに触れる機会となりました。この留学を通して、英語のリスニングは身についたと思います。特に自分の価値観は大きく変わり、視野が広がったと感じています。海外に行くのはあまり興味が無く、今回が初めての海外でしたが、今後は様々な国に行ってみたいと思います。今回このプログラムに参加出来て本当に良かったと思います。坂園さん、中川さんをはじめプログラムに携わって頂いた皆さん本当にありがとうございました。